

スピンドル

日本金属製造情報通信労働組合
八幡・戸畑・中間・遠賀地域支部
教宣部
2016年 8月号

1、雇用情勢について

厚生労働省が7月29日発表した6月の有効求人倍率(季節調整値)は、前月比0.01ポイント上昇の1.37倍と4カ月連続で改善しました。1991年8月以来、24年10カ月ぶりの高水準。企業の求人票を受理したハローワークの場所別に見ると、63年1月の集計開始以来初めて全都道府県で1倍を超えました。

総務省が同日発表した労働力調査(同)によると、6月の完全失業率は前月比0.1ポイント低下の3.1%と3カ月ぶりに改善しました。95年7月(3.1%)以来20年11カ月ぶりの低水準。

完全失業者数は前月比4万人減の208万人、就業者数は47万人増の6456万人。働く意思のない人や病気などで就業できない人を合わせた非労働力人口は4406万人。

季節調整前の原数値では、非正規社員数が前年同月比46万人増の2016万人、正社員が31万人増の3376万人。非正規の方が増えています。役員を除く雇用者に占める非正規の比率は37.4%で、引き続き高水準です。

求人倍率はハローワークに申し込んだ就職者1人当たりの求人数を示します。

6月は、訪日客の増加から宿泊・飲食サービス業が高い伸びとなり、住宅建設需要の拡大で建設業も増加しました。正社員の求人倍率は0.01ポイント上昇の0.88倍で、依然として求人数が求職者数を下回っています。

受理地別の求人倍率は、最高が東京の2.05倍、最低が沖縄の1.01倍。

*九州各県と山口県の有効求人倍率

福岡 1.33、佐賀 1.13、長崎 1.16
熊本 1.30、大分 1.15、宮崎 1.26
鹿児島 1.04、沖縄 1.01、山口 1.38

2、第13回 「平和パネル展」

7月31日(日)10:00~14:00 健和会 町上津役(まちこうじゃく)診療所で「平和パネル」がおこなわれました。

今回は、漫画家の西山 進さん(88才)をまねき「伝えたい 平和の思い」と題して被爆体験を語ってもらいました。漫画も17枚展示。

西山さんは、1928年大分県生まれ、1942年から三菱長崎造船所に養成工として働いていた。1945年8月9日午前11時2分、造船所で仕事中に閃光が走った。爆心地から3.5キロで被爆。現在は、4本の連載を抱え、日本被団協新聞に4コマ漫画「おり鶴さん」は443回で反戦反核をテーマに作品を描き続けている。

西山さんは『日本がまた戦争するような空気になっている。なんとか食い止めなければならない』と訴えました。

今年は、137人の参加でした。

感想は、「西山先生の話は、大変だった話でも、ユーモラスに話して頂き、わかりやすかった」

「体験談は、非常に映画以上の内容で素晴らしかったです。いまの社会情勢に結び付けてよくわかりました。元気で頑張ってもらいたいと思います」

